

生活調べアンケート 第2回調査結果

実施目的

新型コロナウイルス感染症の影響により目まぐるしく社会状況・生活環境が変化する中で、児童生徒には様々な心身のストレスがかかっている可能性がある。そのため、児童生徒の心身の状態を捉え、学校生活への不適應の未然防止・早期発見をすべく「生活調べアンケート」を実施した。

対象

令和4年10月3日～10月17日（タブレットを使いGoogleフォームで回答）

実施期間

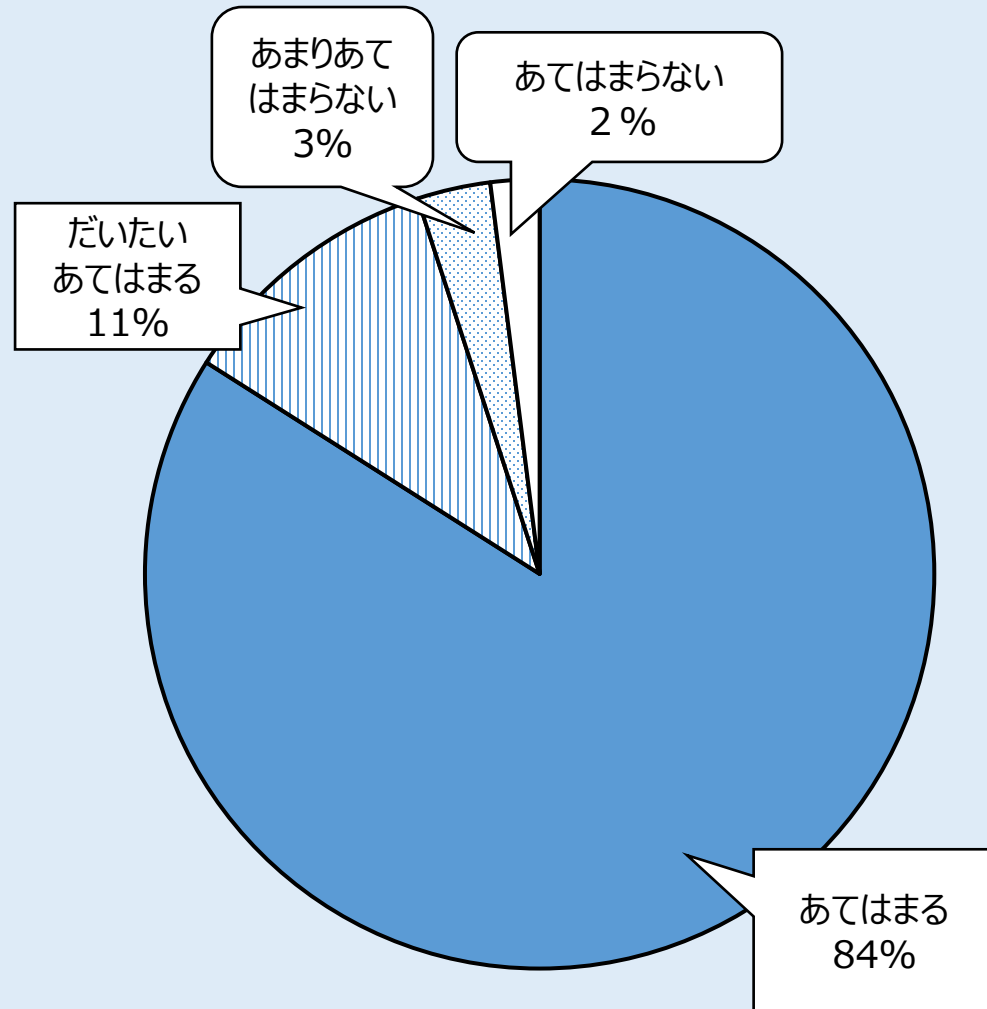
奈良市立学校 小学生（小1～小6）
中学生（中1～中3）

アンケート調査内容

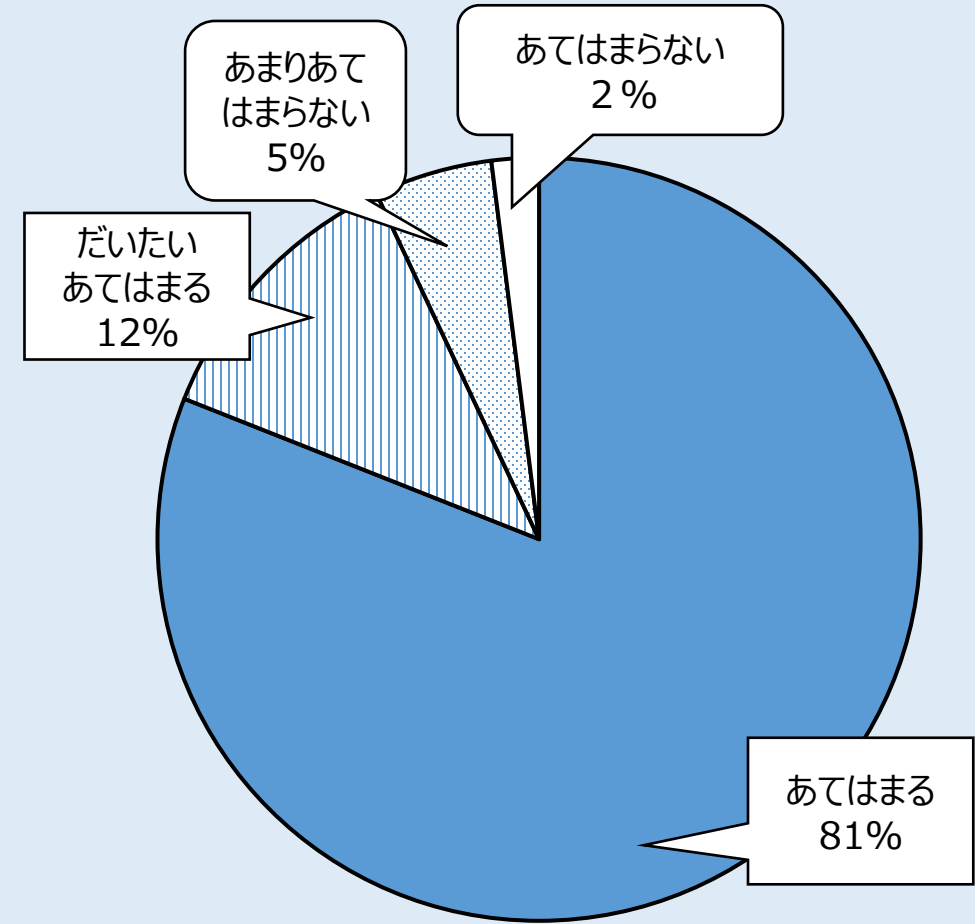
大項目	小項目
①気持ちの安定度について	5項目
②生活の安定度について	4項目
③困ったときにSOSが出せるかについて	2項目
④マスク着用について	1項目
質問1	朝ごはんや昼ごはんを食べている
質問2	なかなか眠れないことがある
質問3	勉強に集中できないことがある
質問4	むしゃくしゃしたり、イライラしたり、かっとなったりする
質問5	何事もやる気がおきない
質問6	頭やお腹が痛いなど、体の調子が悪いことがある
質問7	体を動かすなど、よく運動している
質問8	毎日が楽しい
質問9	悩みごとを話せる人や場がある
質問10	困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることができる
質問11	学校や家で何か不安を感じたことがある
質問12	常にマスクをしていないと不安である

質問1 朝ごはんや昼ご飯を食べている

小学生

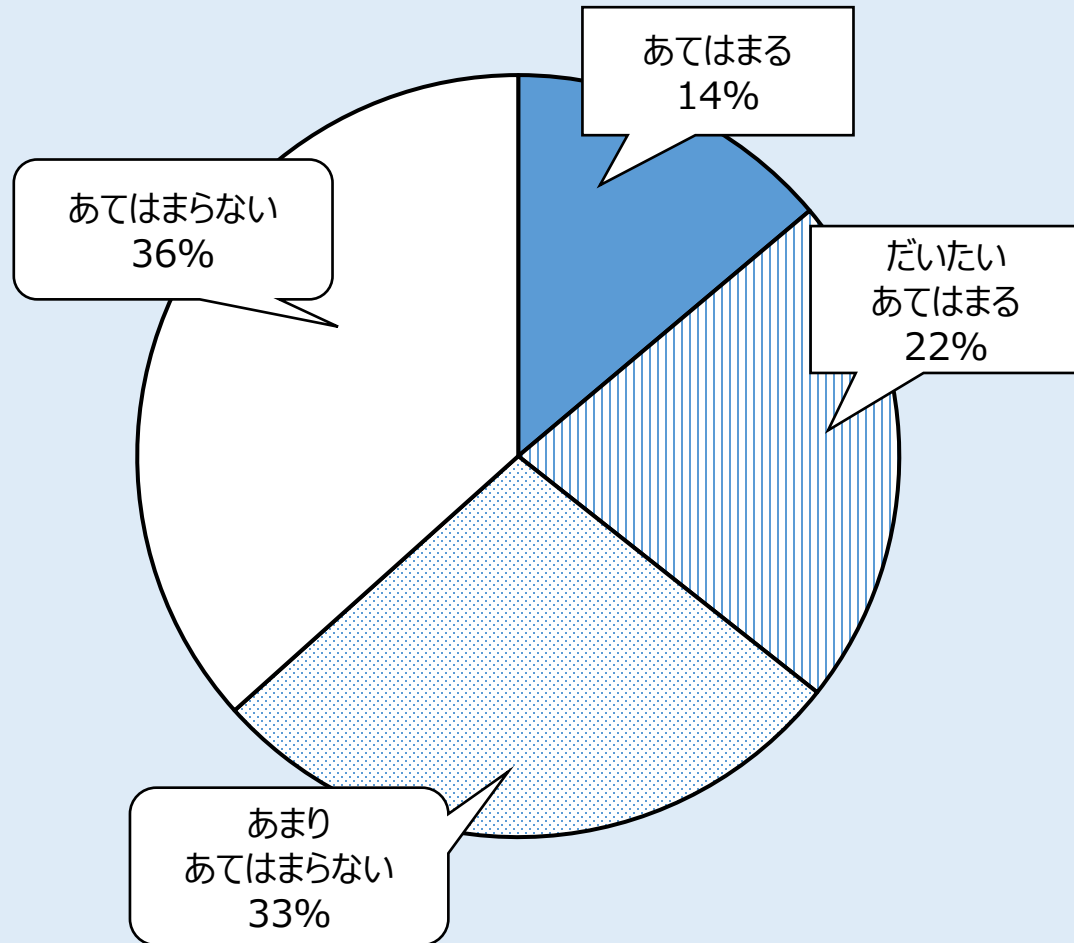


中学生

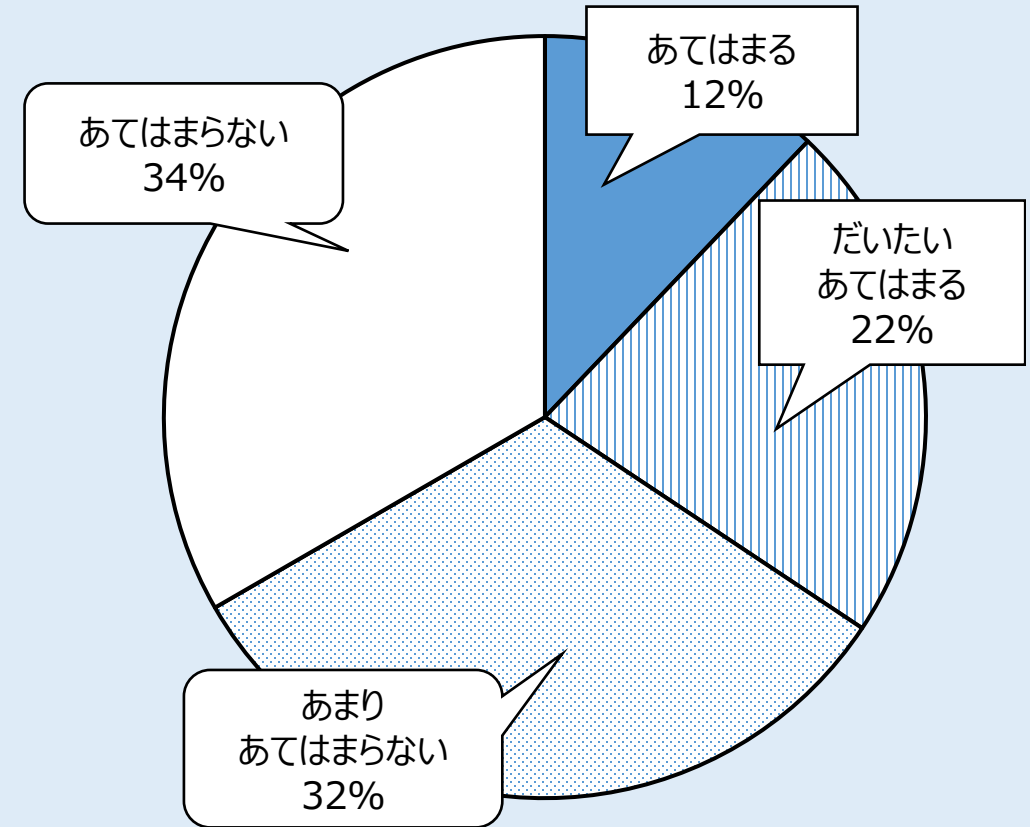


質問2 なかなか眠れないことがある

小学生

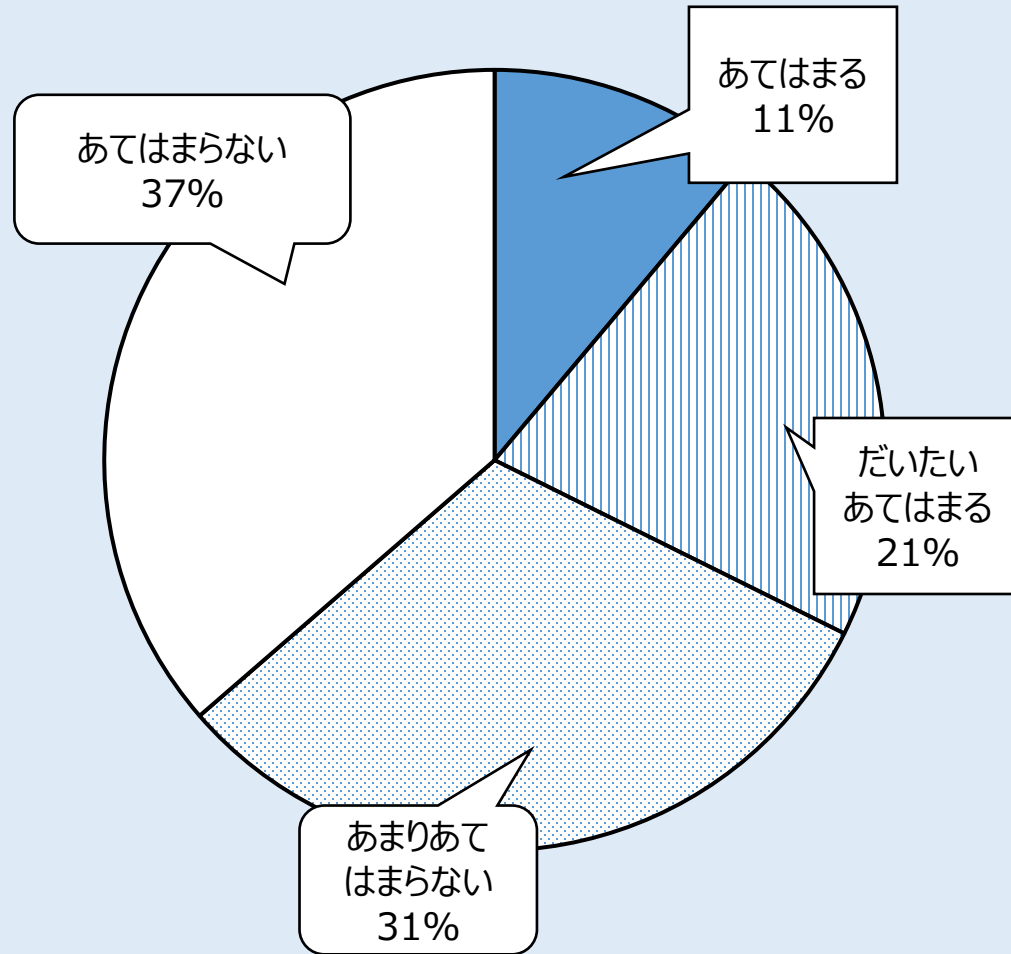


中学生

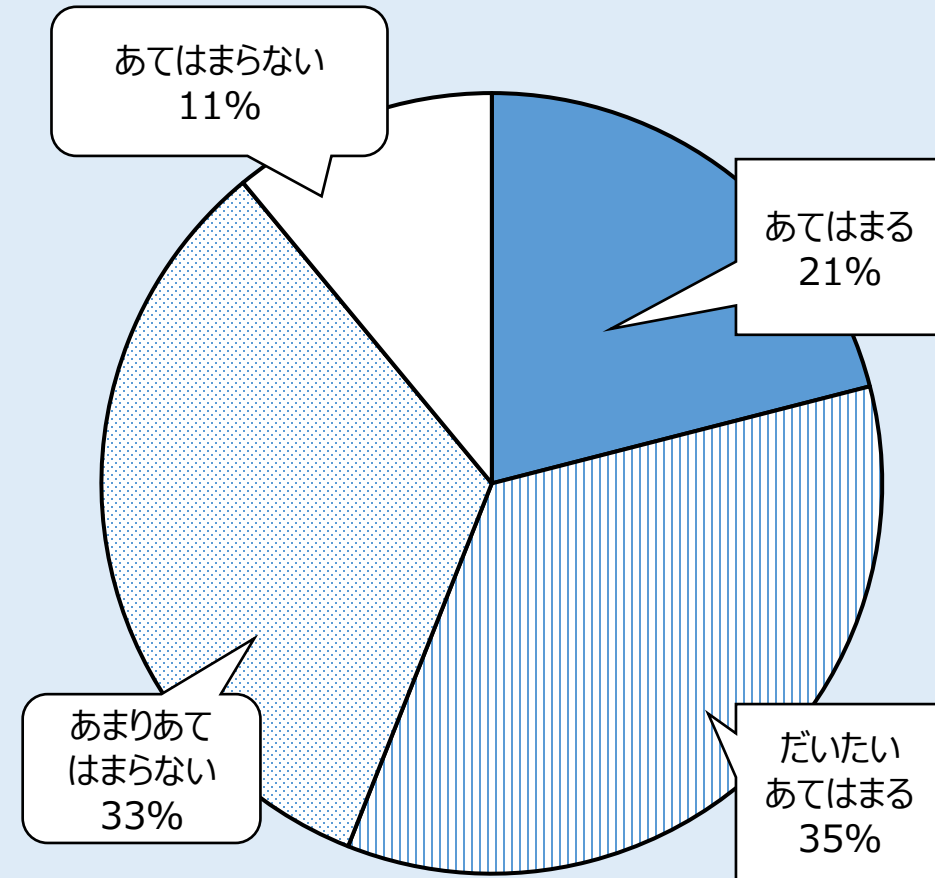


質問3 勉強に集中できない

小学生

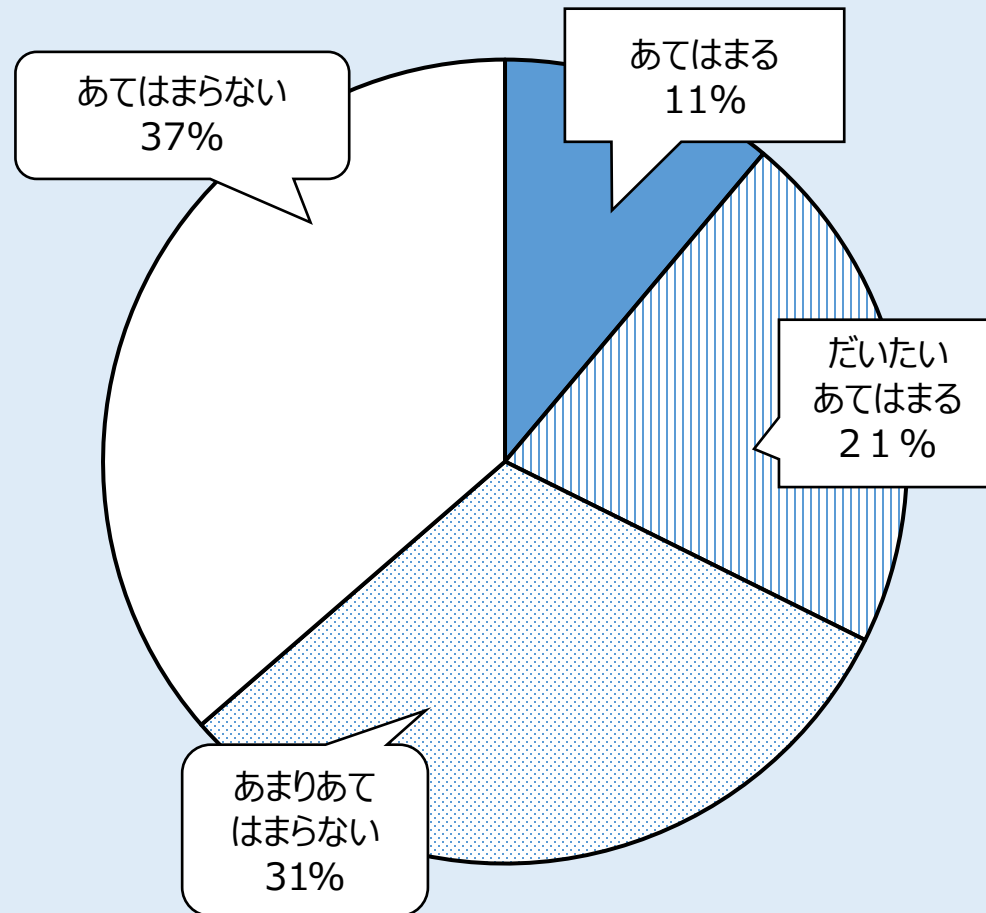


中学生

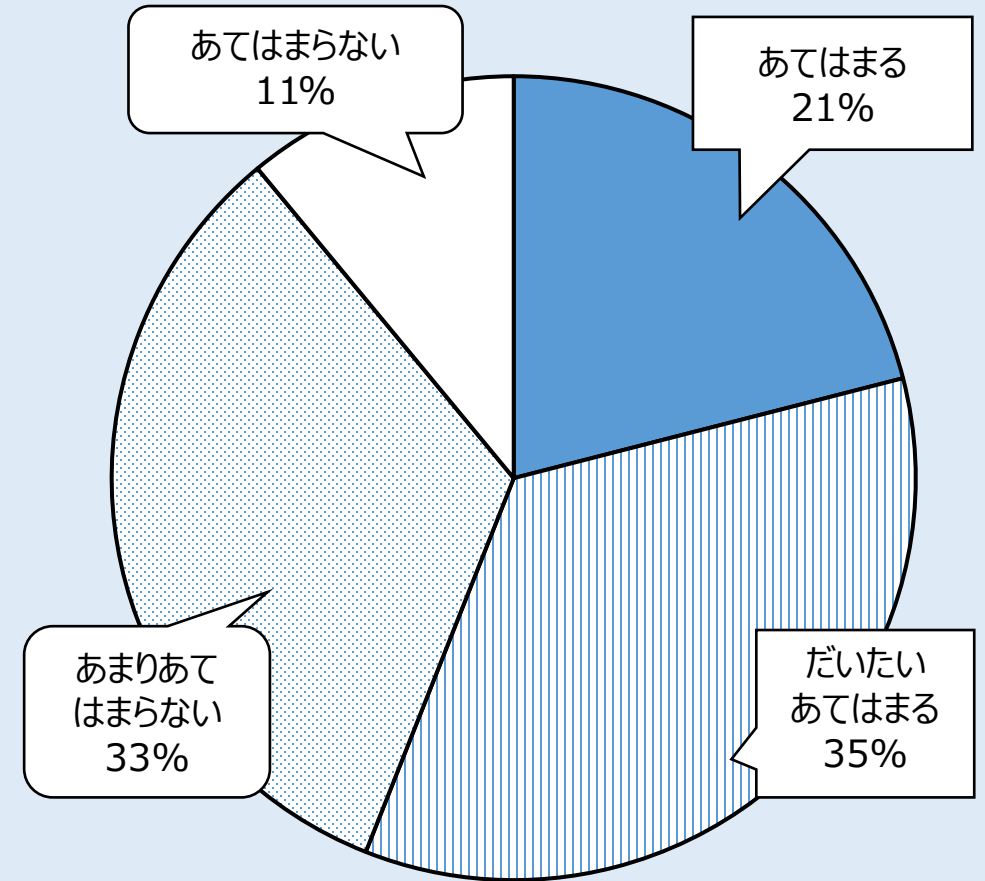


質問4 むしゃくしゃしたり、イライラしたり、カッとしたりする

小学生

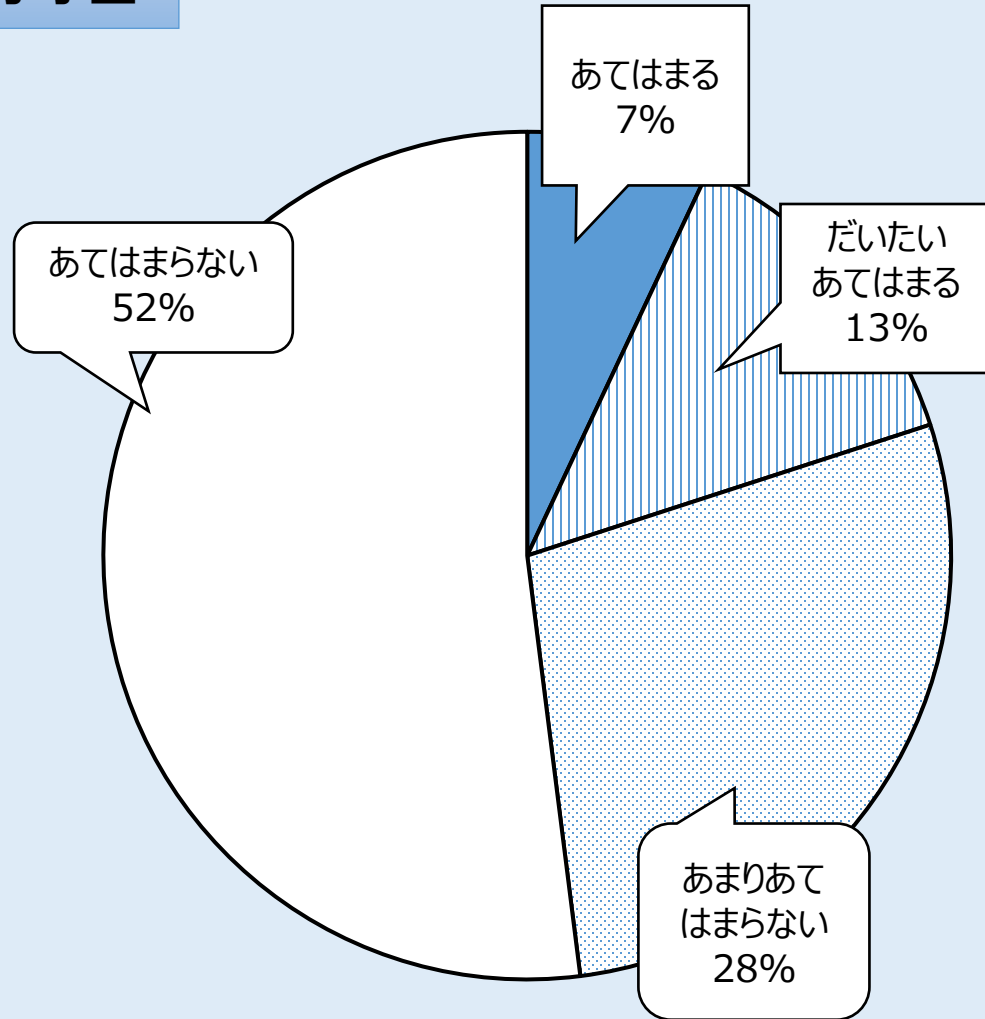


中学生

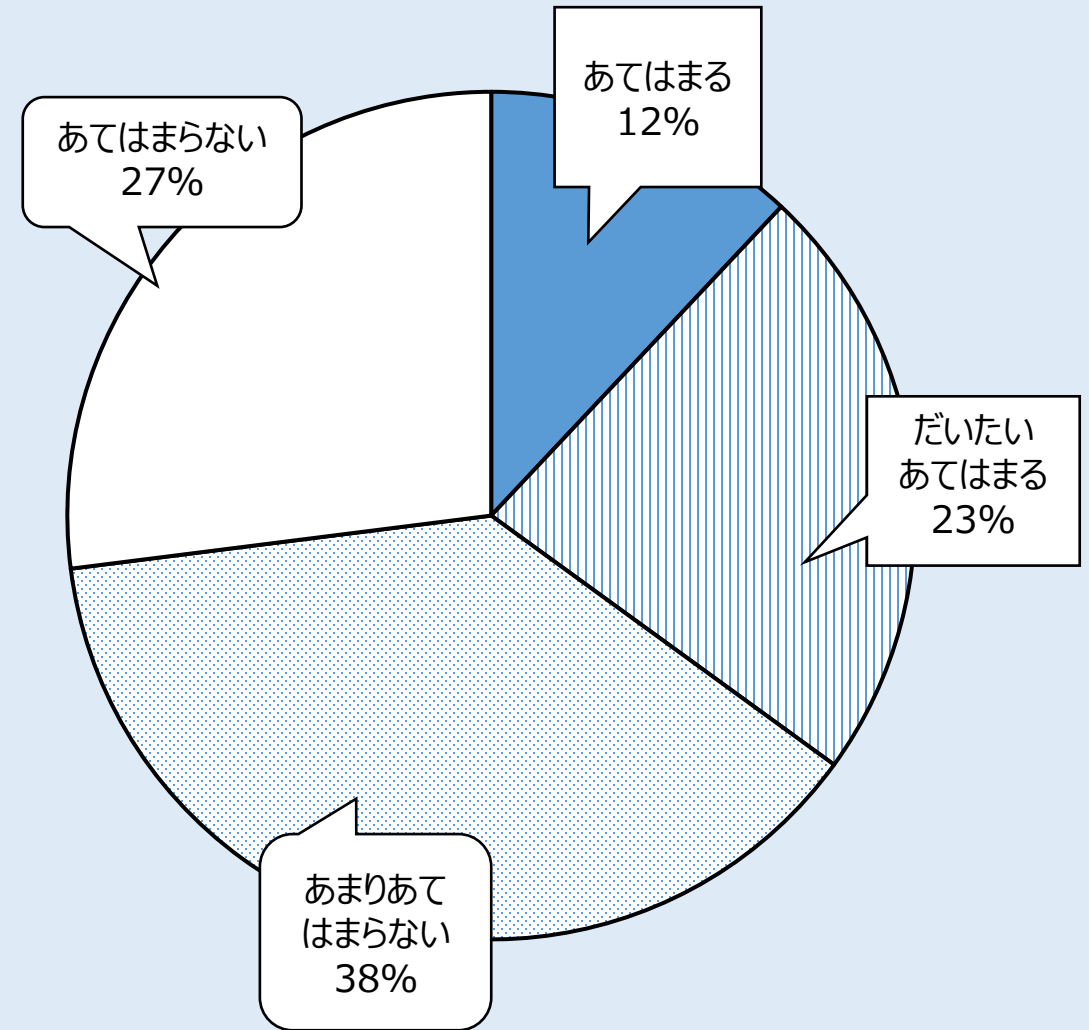


質問5 何事にもやる気がおきない

小学生

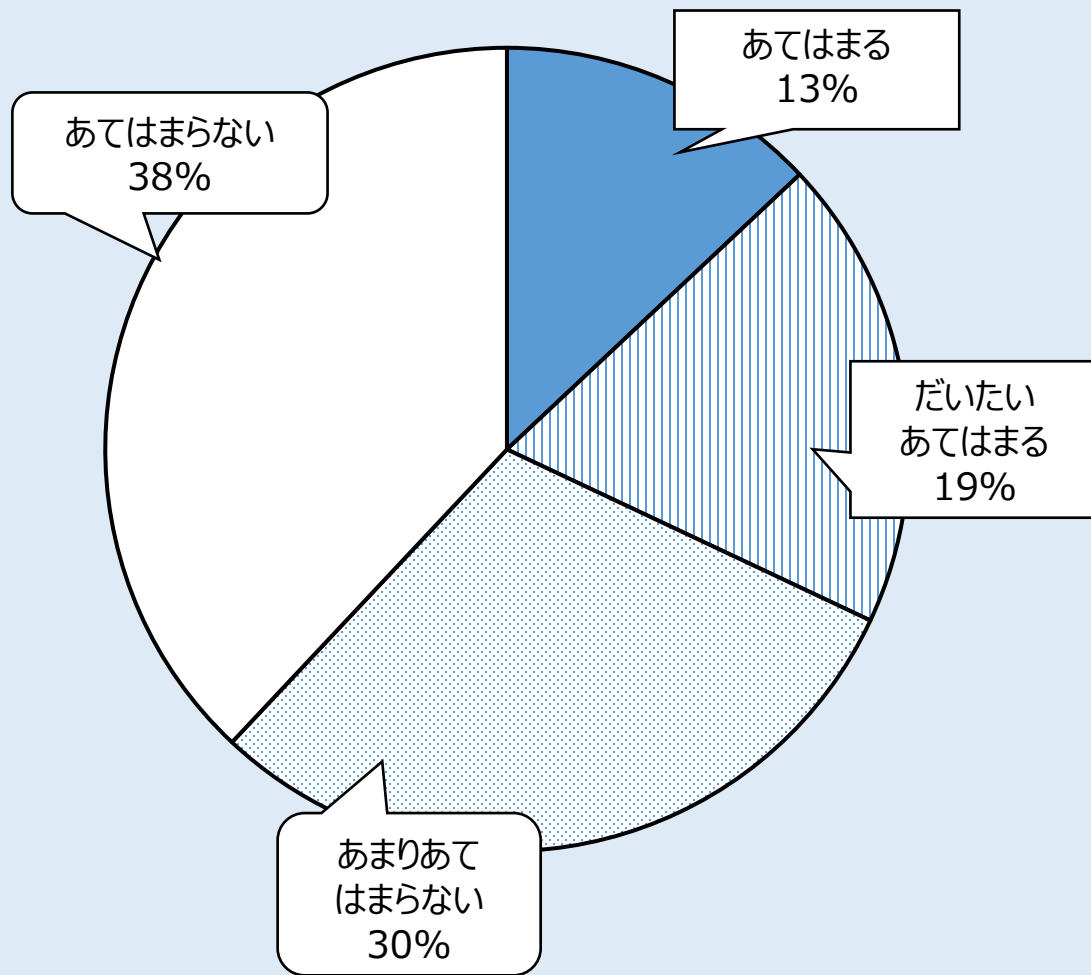


中学生

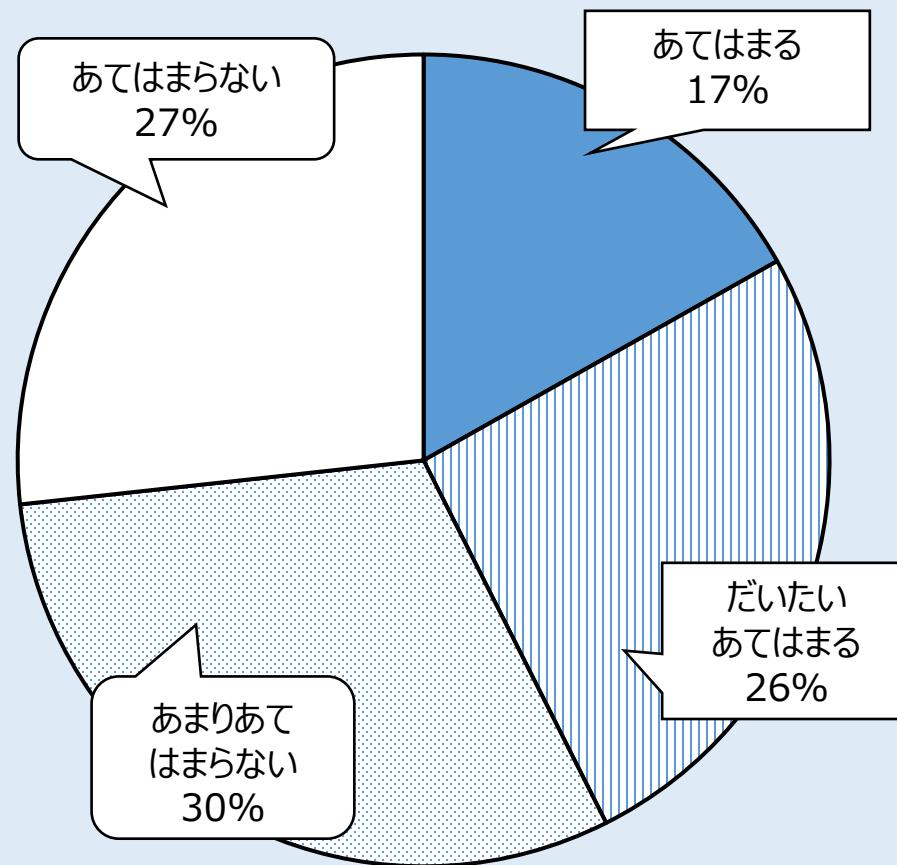


質問 6 頭やお腹が痛いなど、体の調子が悪いことがある

小学生

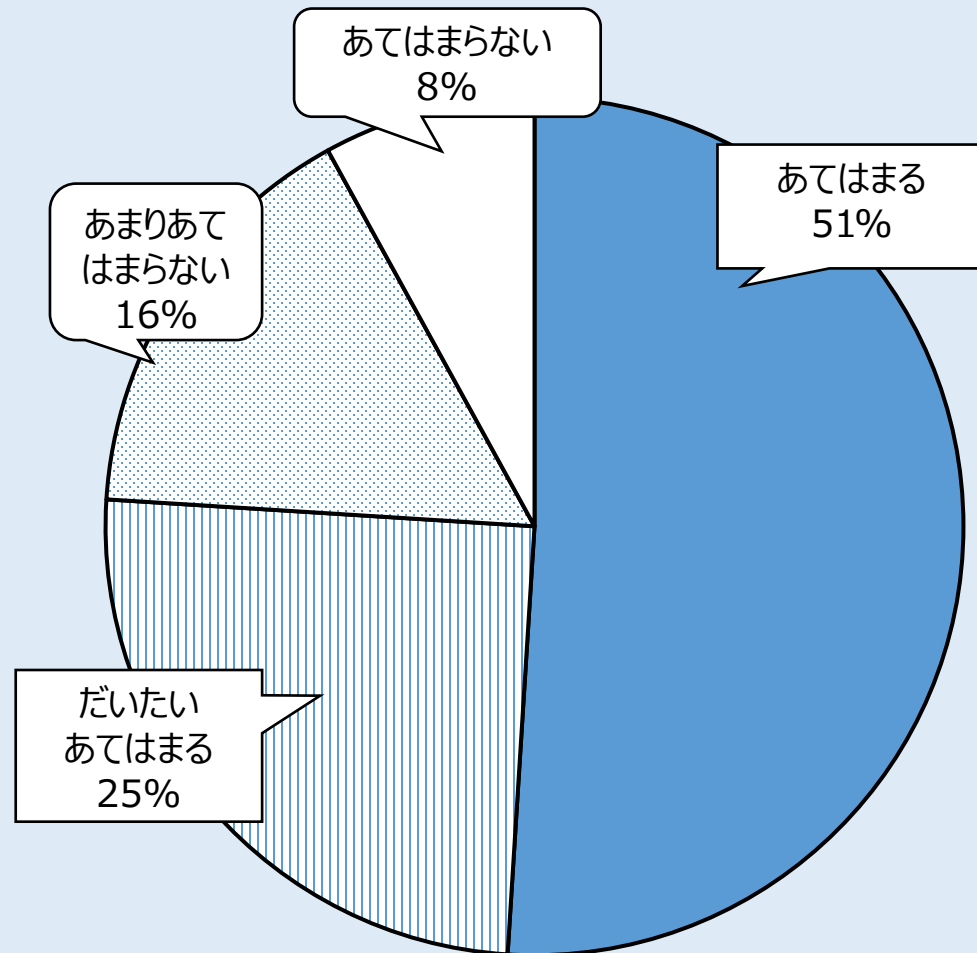


中学生

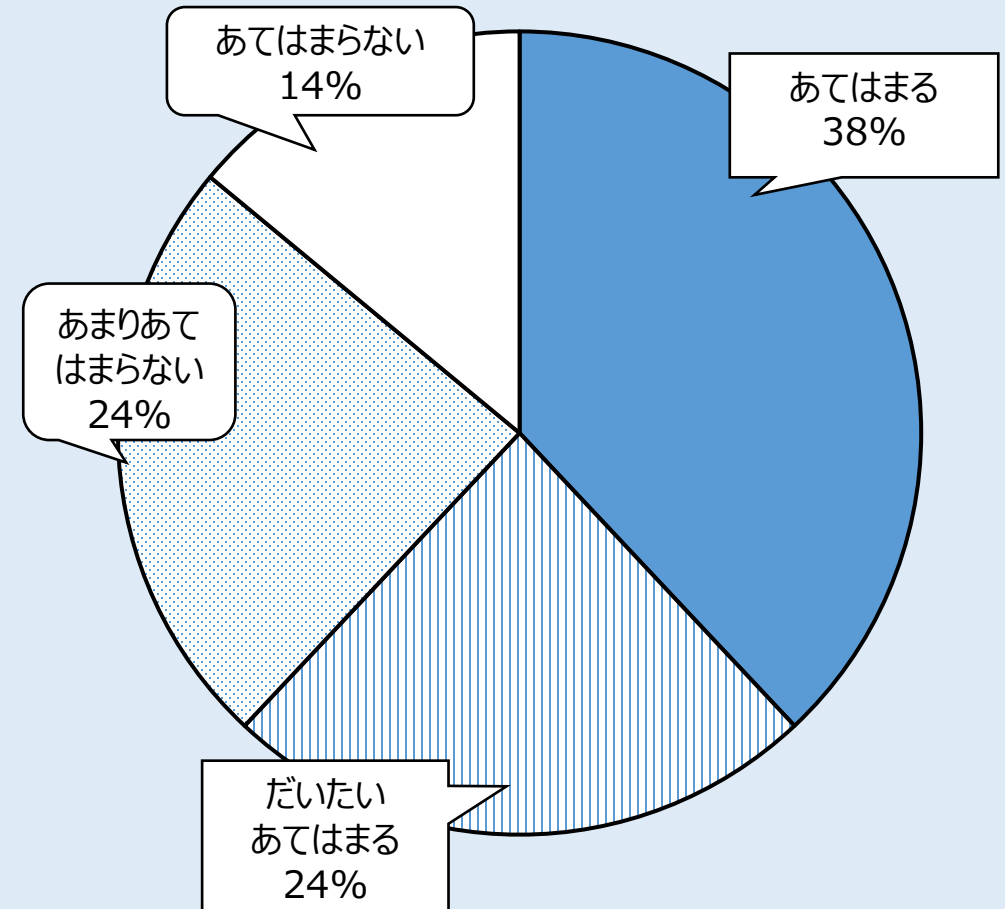


質問7 体を動かすなど、よく運動している

小学生

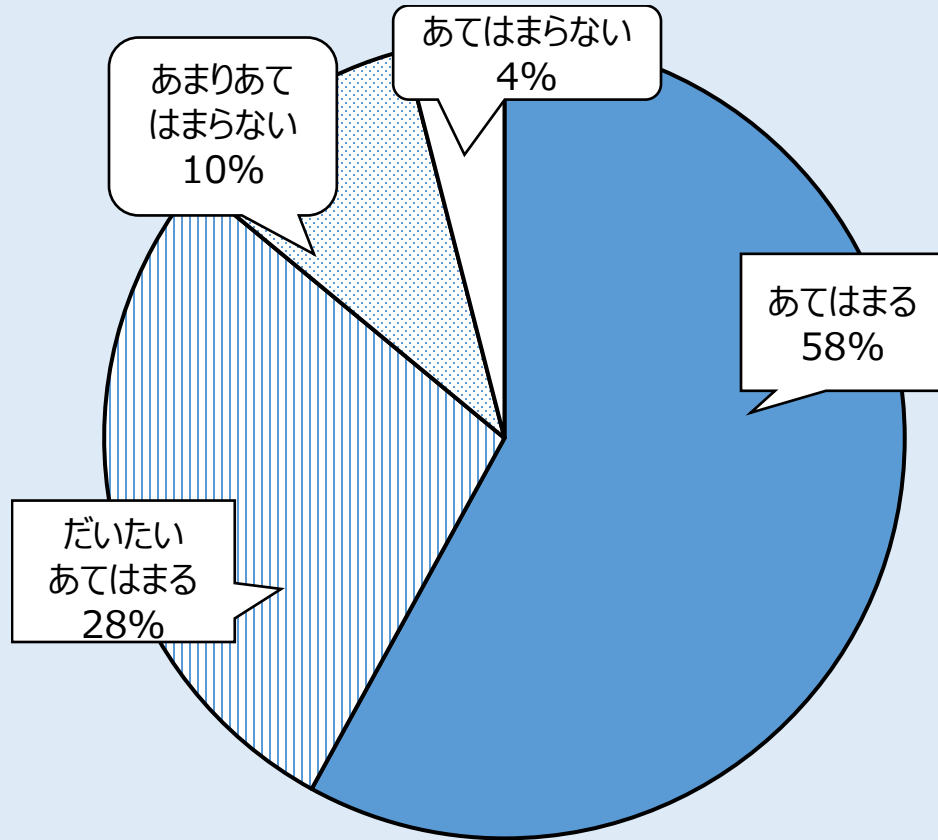


中学生

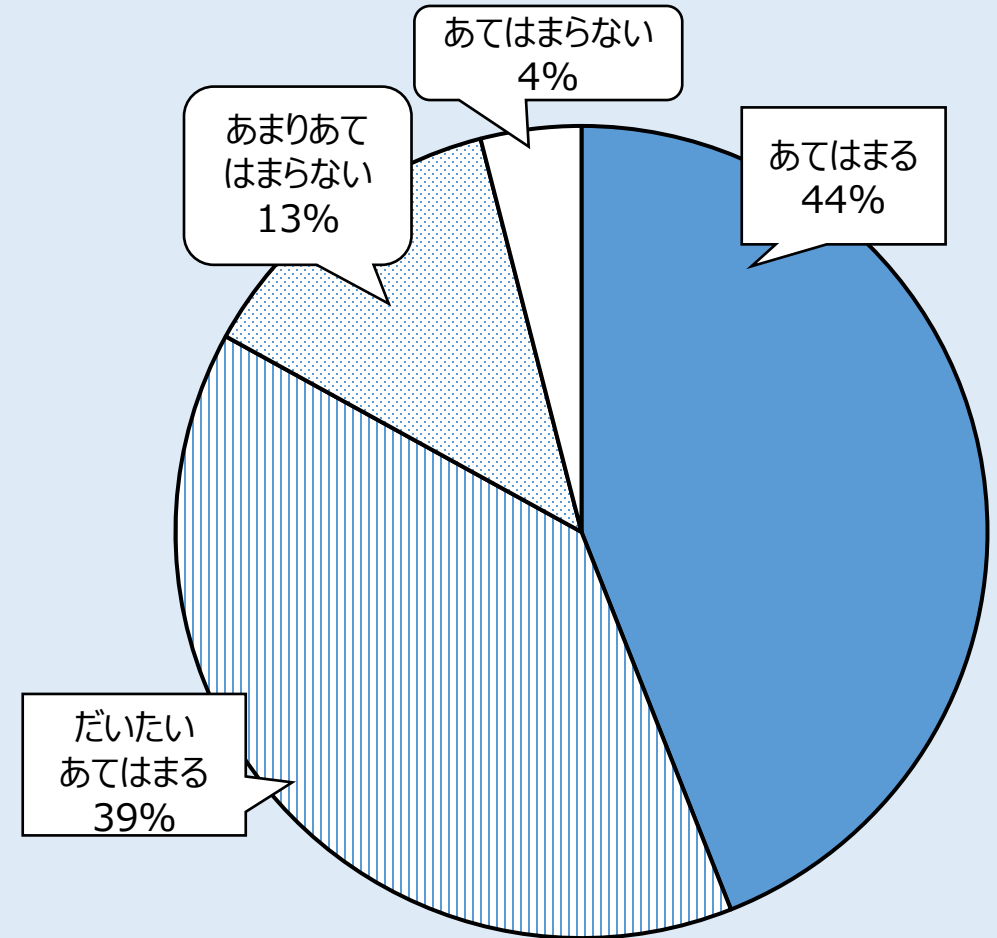


質問 8 毎日が楽しい

小学生

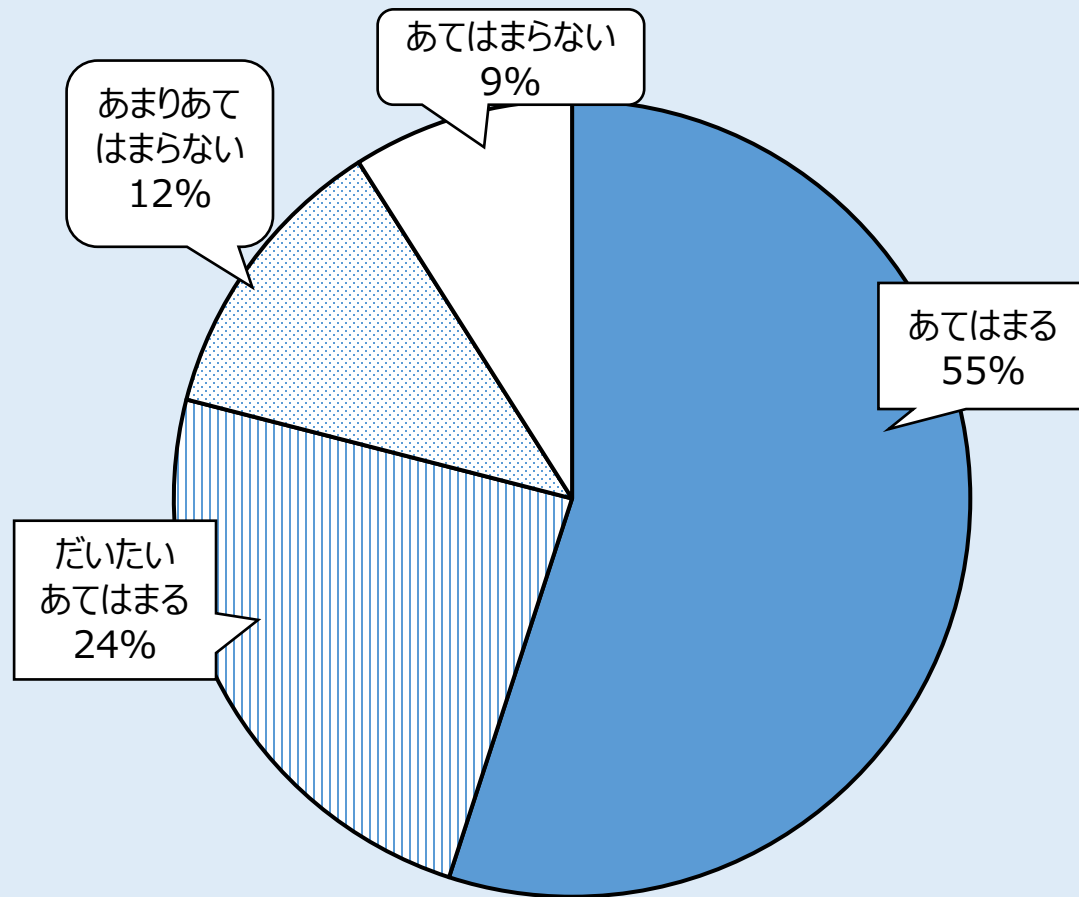


中学生

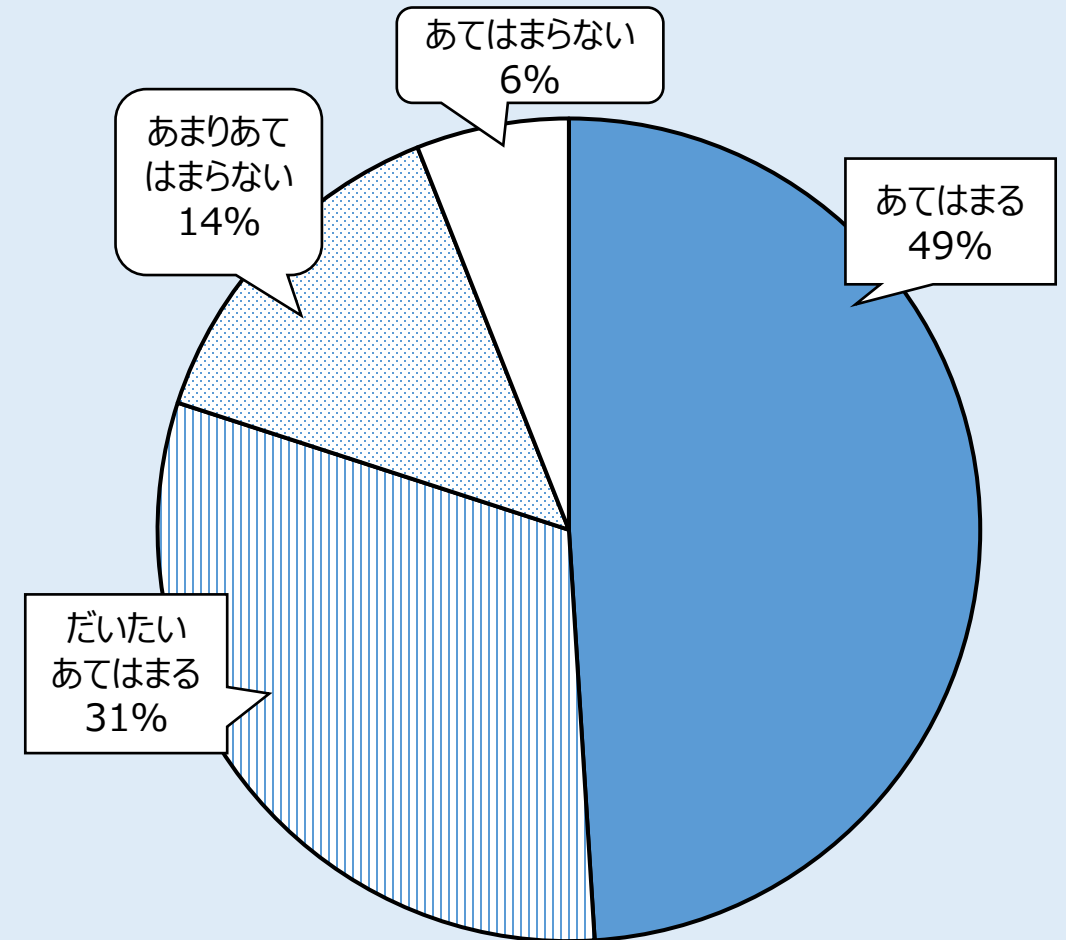


質問9 悩みごとを話せる人や場がある

小学生

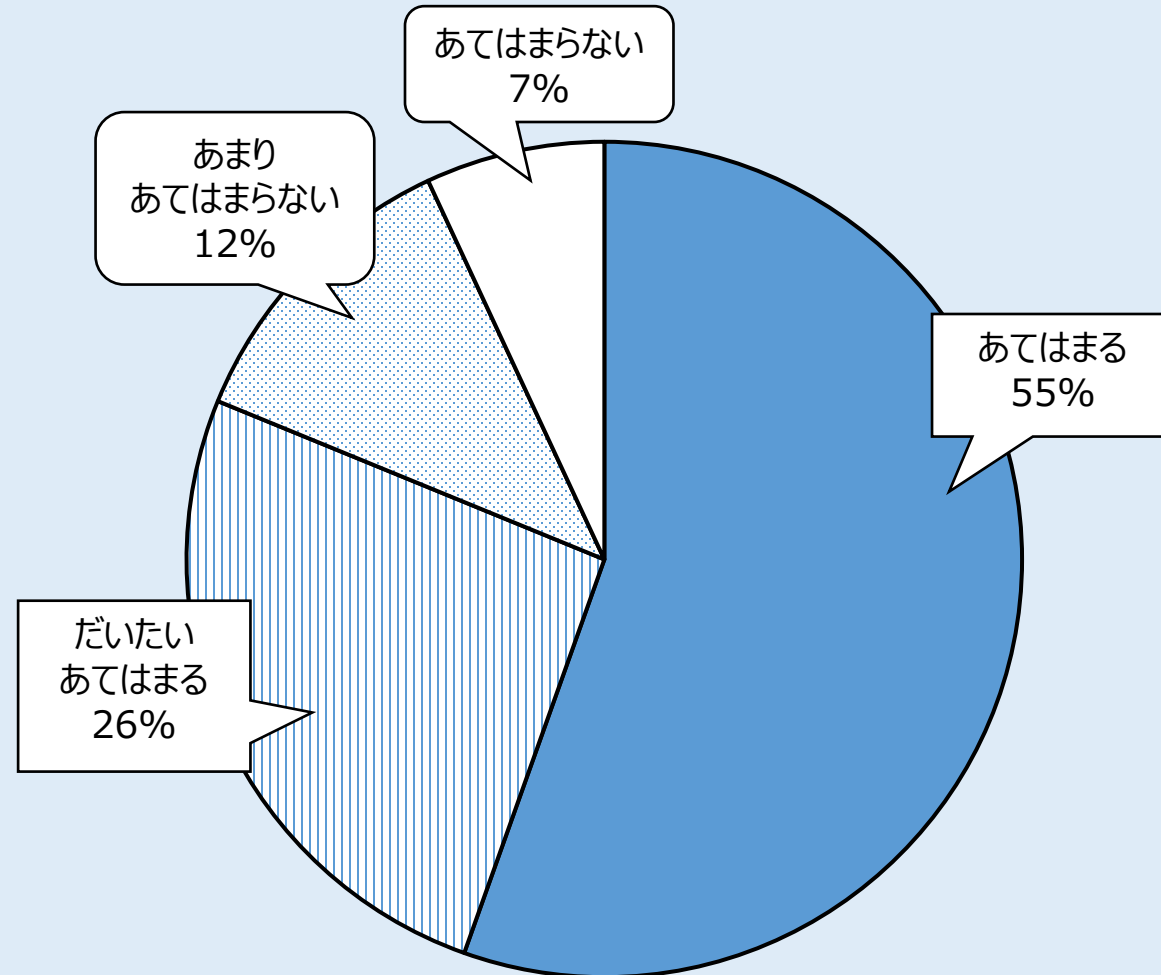


中学生

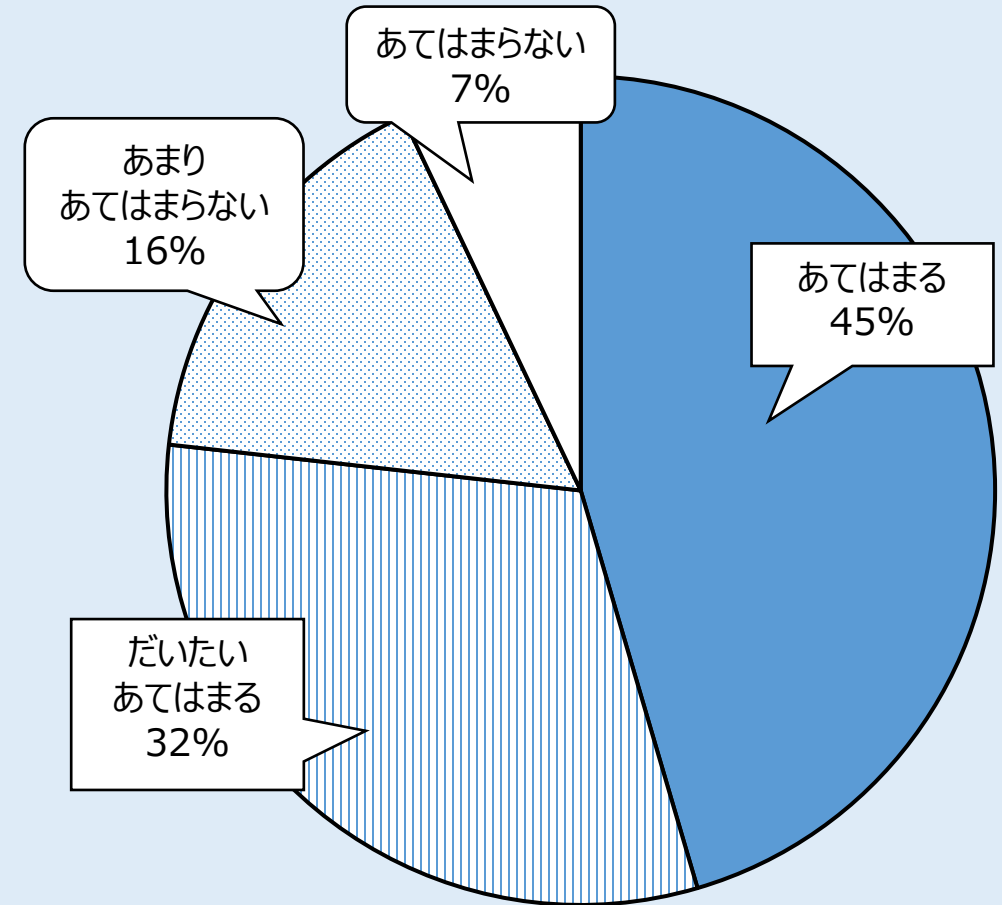


質問 10 困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることができる

小学生

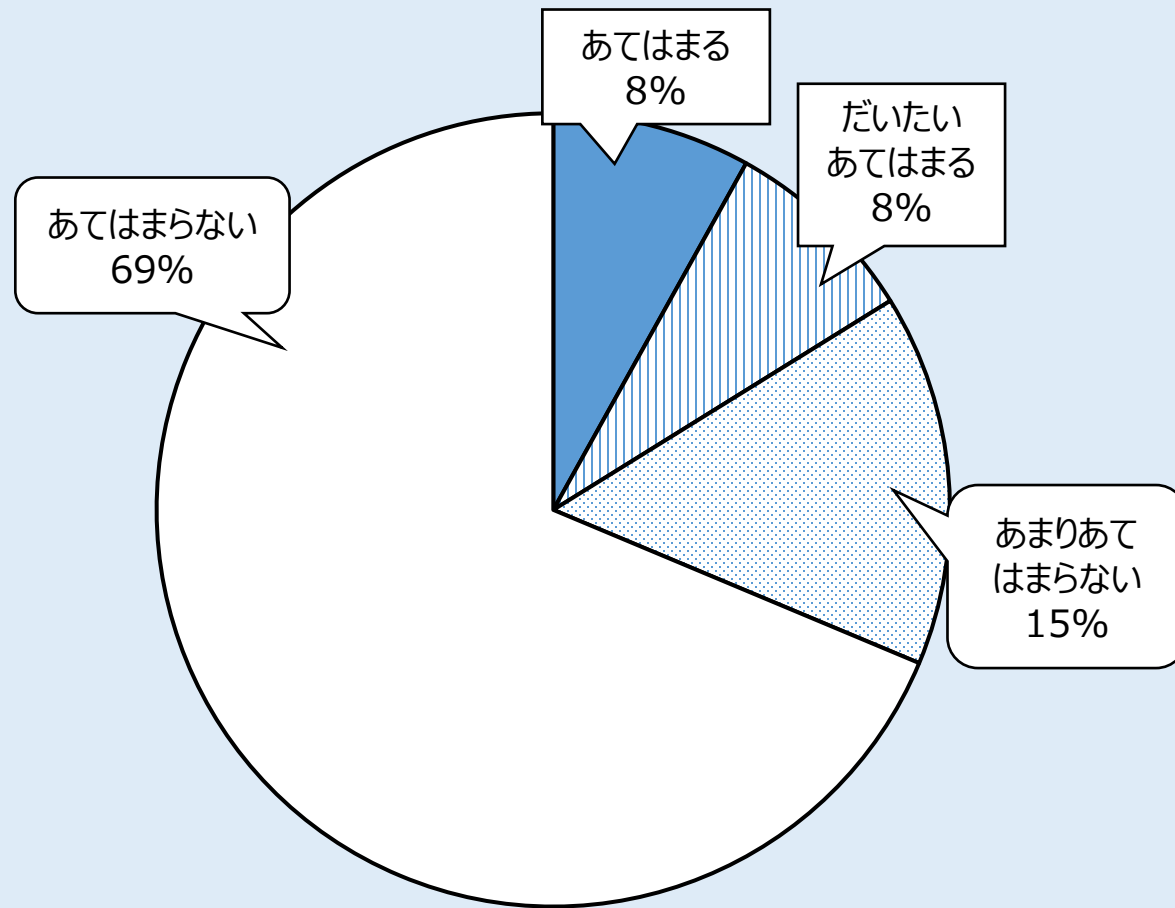


中学生

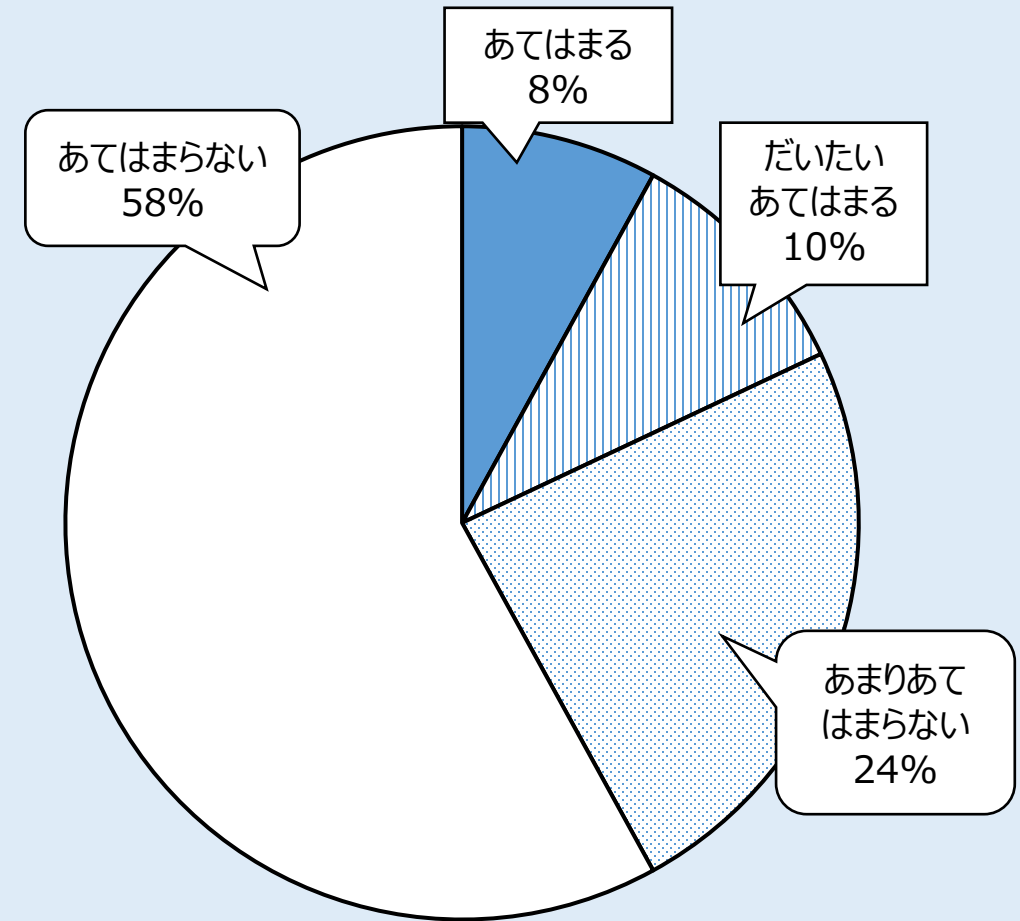


質問 1 1 学校や家で何か不安を感じたことがある

小学生

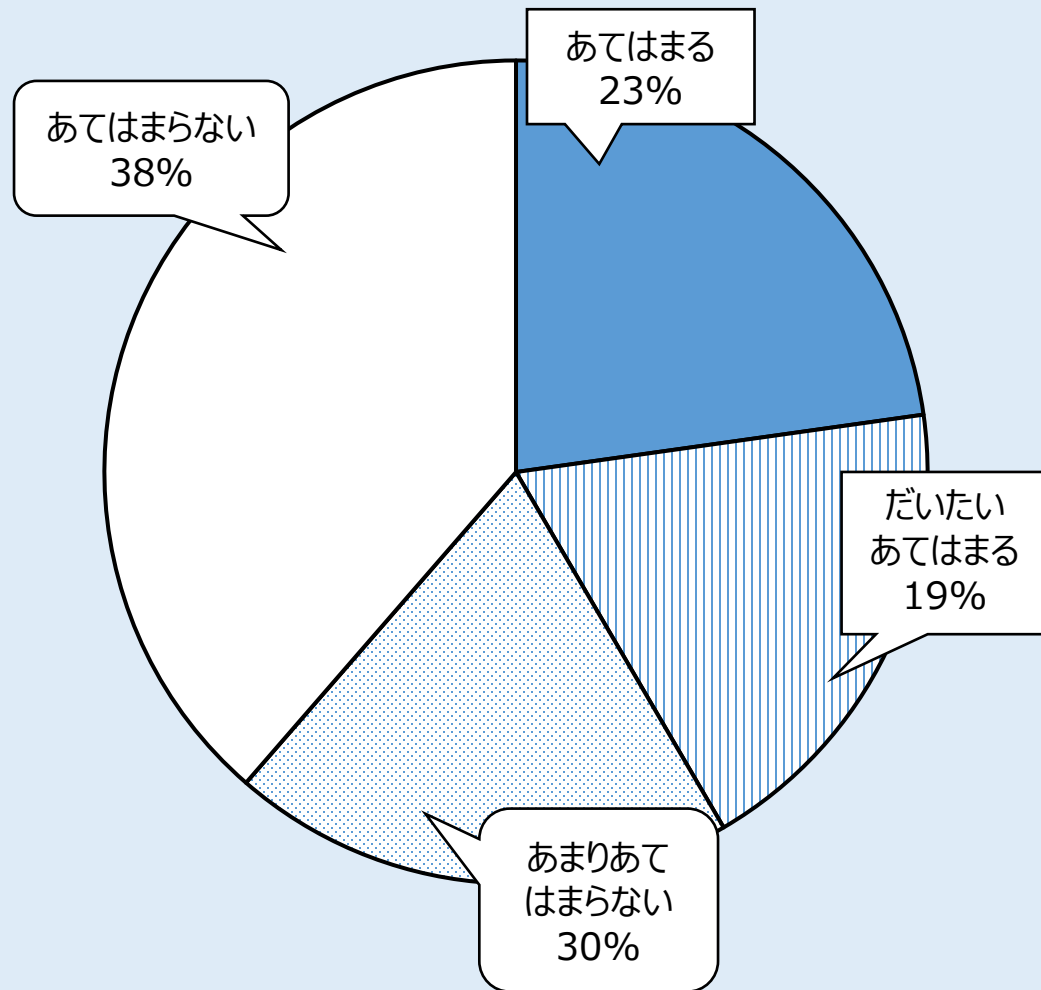


中学生

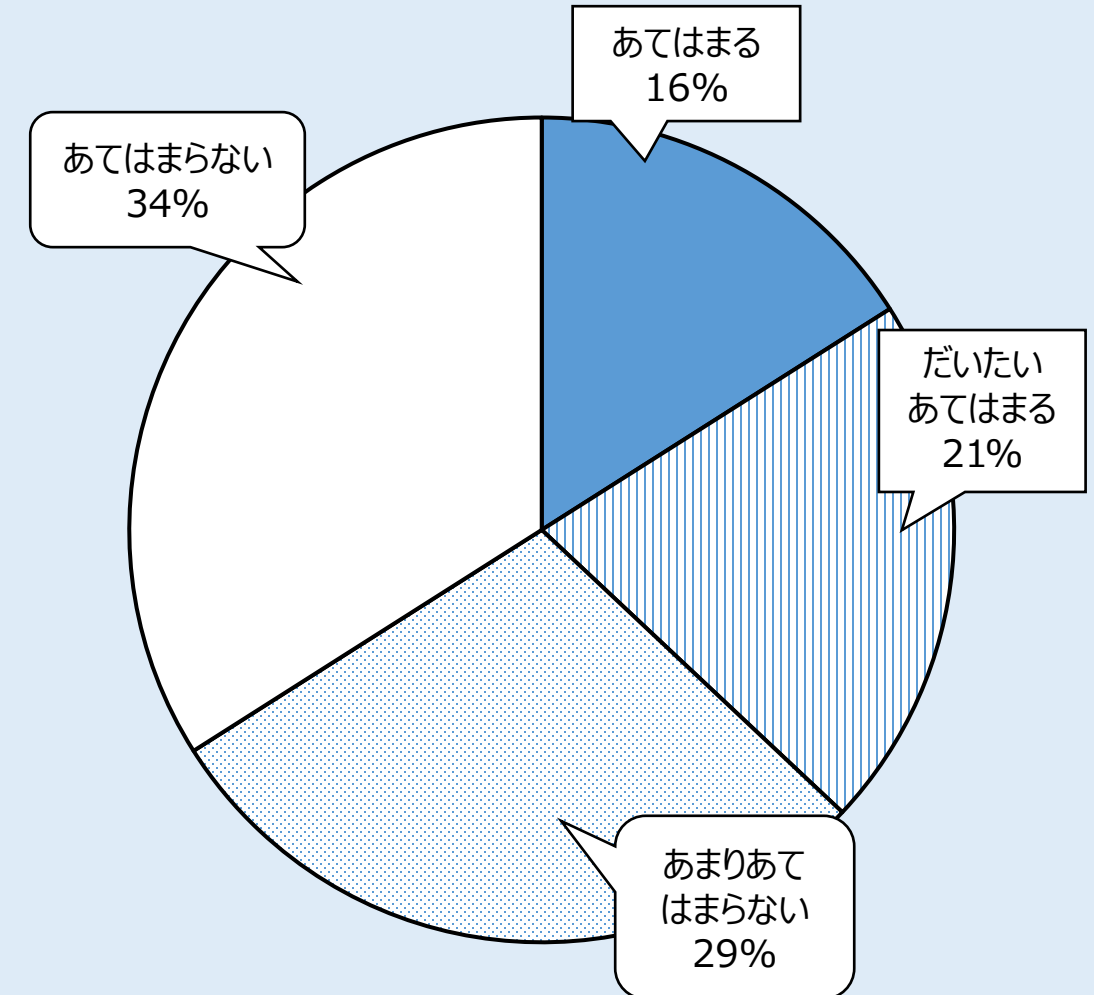


質問 1 2 常にマスクをしていないと不安である

小学生



中学生



結果のまとめ

①大項目の結果について

- ・小学生においては、昨年度の1学期～3学期の経過と照らし合わせて、気持ちの安定度や生活の安定度が高まっていました。
- ・昨年度からのアンケートの結果を見ますと、小学生、中学生ともに援助希求行動に関する質問において、ポジティブな回答が徐々に増加しています。

②小項目ごとの結果について

- ・質問7において、中学生の「あてはまる」「だいたいあてはまる」の割合が1学期より減少しており、中学3年生の部活の引退や受験が影響していると考えられます。
- ・質問12の「常にマスクをしていないと不安である」では、中学生よりも小学生の方が「あてはまる」「だいたいあてはまる」と回答した割合が高く、中学生は37%、小学生は42%が不安を抱いていました。

③実施後の取組

- ・アンケート調査結果と分析を前回との比較も含め市立小中学校教員へフィードバック
- ・学校で教員が、個々の子ども達のアンケート結果を踏まえ、声かけや日常の様子を見守る
- ・SOSを発信しにくい子どもたちとの信頼関係づくりのためのアクションプランの継続
⇒前回から追加した6つの視点を教員に向けて提示